

CP-3-iii-03	<b>医療薬学特別実習</b>	第3学年～ 第6学年前期	必修	16単位
<b>担当者</b>	各卒論教室・研究室・部門・センターの指導教員			
<b>一般目標 (GIO)</b>	<p>薬学の知識を総合的に理解し、社会に貢献するために、研究課題を通して、新しいことを発見し、科学的根拠に基づいて問題を解決する能力を修得し、病院・薬局事務実習において学んだことを実践するとともに、生涯にわたって問題解決能力を高め続ける態度を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・薬学・医療の進歩に寄与するために、研究を遂行する意欲と問題発見・解決能力を身につける。</li> <li>・研究マインドをもって生涯にわたり医療に貢献するために、薬学における研究の位置づけを理解する。</li> <li>・自らが実施する研究に係る法令や指針を十分に理解し、それらを遵守して研究に取り込む。</li> <li>・研究のプロセスを通して、知識や技能を総合的に活用して問題を解決する能力を培う。</li> </ul>			
<b>到達目標 (SBOs)</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現象を客観的に捉える観察眼をもち、論理的に思考できる。(知識・技能・態度)</li> <li>2. 新たな課題にチャレンジする創造的精神を養う。(態度)</li> <li>3. 研究課題に関する国内外の研究成果を調査し、読解、評価できる。(知識・技能)</li> <li>4. 課題達成のために解決すべき問題点を抽出し、研究計画を立案する。(知識・技能)</li> <li>5. 研究計画に沿って、意欲的に研究を実施できる。(技能・態度)</li> <li>6. 研究の各プロセスを適切に記録し、結果を考察する。(知識・技能・態度)</li> <li>7. 研究成果の効果的なプレゼンテーションを行い、適切な質疑応答ができる。(知識・技能・態度)</li> <li>8. 研究成果を報告書や論文としてまとめることができる。(技能)</li> </ol>			
<b>受講心得・準備学習等</b>	各卒論教室・研究室等で与えられた研究テーマに対し意欲的に取り組むこと。準備学習については適宜指示する。			
<b>事後学習・復習等</b>	特別実習を通して培った知識や技能について、よく復習し、課題に対する取り組み方や問題解決へのプロセスを実践できるように努めること。			
<b>オフィスアワー</b>	各卒論教室・研究室・部門・センターの設定による。			

### 授業の形式と各回の内容

授業の形式		実習・演習	
回	項目	内容	SBOコード
	各卒論教室・研究室・部門・センターにおいて、それぞれの教員の指導を受ける。	2年次に配属を認められた卒論教室・研究室・部門・センターに、3年次より正式配属となり他の科目の講義・実習・演習以外の時間で特別実習を行う。 研究テーマについては配属された教室・研究室・部門・センターの指示に従い、実験あるいは文献調査等を行い、その成果を卒業論文としてまとめ、発表し提出する。	g (1)-3・4 g (3)-1～6

<b>成績評価の方法</b>	各卒論教室・研究室・部門及びセンターにおいて、研究態度、課題に取り組む意欲、プレゼンテーション、論文を総合的に評価する。
<b>成績評価の基準</b>	研究に積極的に取り組み、記録がきちんとまとめられているか、プレゼンテーションの内容が的確で分かりやすいか、論文の内容・表現が的確で、適切な考察がなされているかが主な評価基準となる。それらを総合的に評価し、60%以上を合格とする。
<b>教科書</b>	随時紹介する。
<b>参考書など</b>	随時紹介する。